

寝技中心の柔道、気迫ぶつかる 旧武徳殿で全国七大学優勝大会

旧帝国大学の国立7大学による柔道大会、全国七大学優勝大会が16日、旧武徳殿で始まった＝写真＝。一般的な柔道と違い寝技中心の独自ルール。戦前の高専大会からの伝統を引き継ぐ柔道に大勢の観衆が盛り上がった。

大会は1952年に京都で始まり56回目。京大、東大、阪大など7大学が参加する。各大学が持ち回りで開催しており、今年は京大が前回優勝した7年前以来の京都開催となった。

自ら寝技に持ち込む「引き込み」を認め、場外で寝技が続くと審判が選手を移動させるなど立ち技が極端に少ない。団体1試合で2時間近くを要する試合で、各校が独自に開発した技を繰り出すなど気迫がぶつかり合った。最終日の17日はトーナメント準決勝、決勝などを行う。

(京都新聞 6月16日)